

知的障害教育における 各教科等の指導目標の設定及び学習評価を行うための ツールの開発

県総合教育センター特別支援教育部

1 はじめに

知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校（以下、知的障害特別支援学校）の教育課程は、その障害の特性から、各教科等の指導に加え、必要に応じて各教科等の一部または全部を合わせて指導を行うなどして編成することができる。しかしながら、編成する上で基本となる、各教科等の指導目標を達成させるために各教科等を合わせた指導（以下、合わせた指導）の指導内容があることへの意識が薄く、指導計画や学習評価等が曖昧になっているという課題がある。

そこで、令和2年度から2か年計画で知的障害教育における児童生徒の実態把握から学習評価までを行うことができるデジタルコンテンツとしてパッケージ化したツール（以下、ツール）を開発した。

2 ツールの内容紹介

本ツールの構成内容は、表のとおりである。

表 ツールの構成内容

- ①作業手順シート
- ②初期設定シート
- ③各教科等 目標設定シート
- ④自立活動 目標設定シート
- ⑤各教科等を合わせた指導 教科等別シート
- ⑥各教科等を合わせた指導 単元別シート
- ⑦個別の指導計画シート

はじめに①のシートで、ツールの全体像や作業手順を確認することができる。

②の初期設定シートで、学級の人数や合わせた指導を行うかどうか等を入力すると、必要なシートが表示される。

③④は、実態把握及び目標設定を行うシートである。③は、知的障害特別支援学校の教

育課程の段階を参照しながら各教科等の目標を設定することができる。④は、学習指導要領解説自立活動編の流れ図の手順に沿って自立活動の目標が設定できる。

⑤⑥は、合わせた指導を行う場合に作成するシートである。⑤で指導形態を検討し、⑥で合わせた指導の各単元が、どの教科等のどの指導内容を合わせて行うのかを明確にすることができる（下図）。

⑦では、指導要録の様式に沿った個別の指導計画を作成することができる。

指導形態	時期(月)	単元	単元略称	A	
				内容	教科等
日常生活の指導	4～9	朝の会	朝	- 元気にあいさつをする。 - 時計を見て行動する。 - スピーチをする。	生算国
生活単元学習	4～5	たんけん	学	- 学校にある様々なものを見つける。 - 見つけたものを発表する。 - 学校にある教室の数を調べる。 - 交流学級の友達と仲良く学習する。	生国算自

図 各教科等を合わせた指導単元別シート（一部掲載）

3 おわりに

本ツールを使うことによって、知的障害教育に携わる全ての教員が、学習指導要領に則って児童生徒の実態把握から学習評価までを行うことができる。また、合わせた指導における各教科等の目標が明確になることで、根拠をもった学習評価が可能となる。

年度末には、県総合教育センターのWebサイトに公開する。より使いやすく分かりやすくするために「使い方ガイド」及び「記入例」も併せて掲載する。次年度には、当センターの推薦研修で本ツールを活用した実技研修を行う等、教員への周知を図っていく。